

農作物技術情報 号 外 地震に伴う復旧作業の留意点

発行日 平成23年4月8日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ（電話 0197-68-4436）

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/>」

岩手県内では、3月11日の地震による施設の倒壊、4月7日の地震による再度の停電がありました。現在、農業施設の復旧作業が進められていますが早期の対応と無理のない作業に心がけ、事故防止に努めましょう。

農業施設

事故防止に努めましょう！

- (1) 倒壊した施設は、無理のない復旧作業に努めましょう。
- (2) 施設等の修復が可能なものは安全に十分配慮して補修を行いましょ。また、暖房機等の機械は保守点検を励行し、燃料漏れがないかなどを確認し、安全運転に努めましょう。
- (3) ハウスの倒壊が予測される場合には、ハウス内への立ち入りを極力避け事故を防ぎましょう。

酪農

乳房炎の早期発見に努めましょう！

停電により、長時間搾乳ができなかったことで乳房炎の発生が心配されます。搾乳が出来なかった時間が16時間を越えると乳房炎のリスクが高まります(表)。早期発見に努めるとともに、発症している場合は、下記の対策を速やかに実施し、被害軽減に努めましょう。

表 搾乳中止時間の乳量、乳成分への影響

	影響	回復の状況
16時間以内	乳量、乳質に問題なし	-
16～35時間	乳量、乳質はやや低下 乳房炎の危険性	・ 乳量、乳質の回復は概ね1～2週間 ・ 乳汁分泌停止の場合、泌乳後期にシフトする事例もまれにあり ・ 乳房炎は、発症あるが早期治療により回復
35時間以上	乳量、乳質は大きく低下 乳房炎の増加	

平成19年釧路技術支援会議資料より

- (1) 異常個体の早期発見
 - ア 乳房の腫脹や熱感、冷感がある場合は、乳房炎が疑われます。搾乳時、乳汁のPLテスターにより、感染の有無を確認します。
 - イ 搾乳時の前搾りで、凝固物(ブツ)の有無を確認します。凝固物(ブツ)が確認できる場合は、PLテスターで感染の有無を確認します。
 - ウ その他、乳房炎が疑われる場合も、搾乳時にPLテスターで感染の有無を確認します。
- (2) 感染時の対応
早期に治療を依頼します。
- (3) 飼料給与
免疫力の向上が、乳房炎予防や感染後の早期治癒に効果的です。新鮮な水の十分な給与、嗜好性の良い粗飼料の十分な給与に努めます。また、ビタミン剤も、分娩直後などに採食量が確保できない個体や治療中の個体などに給与すると効果的です。